

SCHOOL
PROGRAM
REPORT
2016

SCHOOL
PROGRAM
REPORT
2016

平成28年度 高知県立美術館
スクール・プログラム報告書

平成28年度 高知県立美術館
スクール・プログラム報告書

平成28年度 高知県立美術館スクール・プログラムについて

高知県立美術館では、平成27年度より、学校と美術館が連携して行う活動を「スクール・プログラム」という名称のもとに統括し、より、計画的・一体的な事業に発展させることを目指して、再スタートしました。

学校と美術館の物理的な距離を埋めるために開始した、貸し切りバス代を支援する「ミュージアムバス・ツアー」は3年目を迎えました。これまでは、郷土ゆかりの写真家・石元泰博氏の母校がある土佐市や、美術館近隣の大規模校や来館が少ない地域等を選び、パイロット事業として学校にご協力いただけてきました。そして、今年度は、県下の公立小・中学校から希望を募り、「ミュージアムバス・ツアー」の本格スタートを切りました。これまで来館の少なかった地域や学校を優先に選び、小学校5校、中学校1校が来館しました。

学校の来館利用については、昨年度に続いて鑑賞プログラムを利用するレポート校や、公立校の来館が少しずつ増えてきています。また、平成26年度から始まった土佐市の保育園に続き、本年度は高知大学教育学部附属幼稚園の園児が来館し、鑑賞プログラムを体験しました。充実した対応のためのスタッフの確保、学年や年齢に応じたプログラムの充実が求められています。

アウトリーチ事業では、カンパニー・デラシネラによる出前演劇教室を事前ワークショップと合わせて行いました。また、出前クラシック教室の関連企画として行った「0歳からのクラシックコンサート」には、たくさんの親子連れが来場しました。今後は、スクール・プログラムを見越した園児や、未就学児とその家族を対象としたプログラムにも取り組んでいきたいと考えています。

地図でみる利用状況



高知県内の公立小・中学校数 (平成28年度)

	小学校	中学校	合計
市町村(学校組合)立	194	105	299
県立		2	2
国立	1	1	2
	195	108	303

小・中学校の美術館利用実績 (平成24～28年)

	平成24年	25年	26年	27年	28年
来館利用	47件 1,473人	55件 1,722人	27件 1,155人	53件 2,141人	47件 2,520人
来館利用(私学)	27件 816人	38件 1,057人	15件 311人	26件 1,088人	8件 296人
来館利用(高知市立)	7件 334人	11件 522人	5件 399人	9件 638人	12件 1,084人
出前びじゅつ講座	12件 708人	3件 92人	4件 93人	11件 565人	8件 460人
出前びじゅつ講座(高知市立)	3件 190人	0件 0人	0件 0人	1件 160人	4件 287人

スクール・プログラム 1

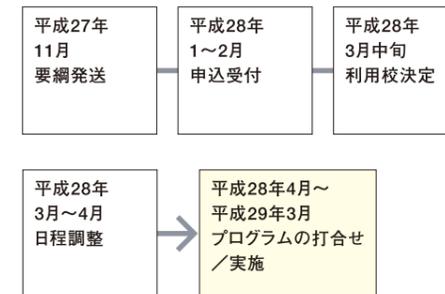
来館(学校→美術館)事業

1 ミュージアムバス・ツアー

今年度は、初めて、県内の全公立小・中学校を対象に利用校の募集を行った。

2月末の締切日までに11校の小・中学校よりお申込いただき、過去5年間の利用がなかった地域や学校を優先に選考し、その結果、小学校5校、中学校1校の来館が決まった。

平成28年度ミュージアムバス・ツアーのスケジュール



5月27日
越知町立越知小学校
(6年生/37人)

●目的

地域的に来館経験の少ない児童が多いので、美術館に親しむことを目的に、バックヤード見学と、館内作品を中心に鑑賞。

●スケジュール

10:00 来館、創作室へご案内。

オリエンテーション(当日スケジュール、館内ルールの確認)

10:30-11:30 4グループに分かれてツアー開始。館内作品(《鏡をもつ女》《石枕》《ピークオド号、薔薇番号に遭う》《CHI-ZA》《グロリア》)、「シャガール展」、「大原治雄写真展」を鑑賞、バックヤードとして管理棟(事務室、館長室)、ホール音響室、搬入口・防災センターを見学。

11:30-12:50 昼食、自由鑑賞。

13:00 美術館を出発。

●先生の感想

普段みることのできないバックヤードや作品鑑賞のポイント、作品管理等について短い時間だったが、沢山のことを教えていただいた。また、チャンスがあれば参加してみたいと思う。子どもたちも作品をみる目が少し変わったように思う。

●成果・課題

越知町は来館の少ない地域の一つだったので、実績を作ることができたことは意味深い。来館に限らず出前講座等でも継続的な利用を目指したい。

館内作品



フェルナンド・ボテロ《鏡をもつ女》



若林奮《石枕》



ニコラ・デ・マリア《グロリア》



和田守卓良《CHI-ZA》



フランク・ステラ《ピークオド号、薔薇番号に遭う》



オリエンテーションからスタート



グループに分かれて鑑賞

6月27日
安芸市立土居小学校
(6年生/27人)

●目的

バックヤードの見学や館内作品等を鑑賞することで美術館に親しむ。

●スケジュール

10:00 来館、創作室へご案内。

オリエンテーション(当日スケジュール、館内ルールの確認)

10:30-11:30 3グループに分かれてツアー開始。館内作品、「シャガール展」、「アール・ヌーヴォーのガラス展」を鑑賞、バックヤードとして管理棟、ホール音響室、搬入口・防災センターを見学。

11:30 美術館を出発、高知県立歴史民俗資料館へ移動。

●先生の感想

このような催しを本校6年生が毎年参加できるようになると、うれしい。また、歴史館の見学も合わせて行うことができ、地方の小学校として、こういう機会を与えてもらい感謝している。

●成果・課題

来館人数に対応するスタッフのバランスが良く、会話を楽しみながら巡ることができた。限られた時間内でコレクションと企画展の鑑賞をするためには、ポイントを決めて作品数を絞る必要がある。どこにポイントを置くかは、学校と調整しながら判断していきたい。



館内作品(石枕)にも注目



ガラスに描かれているのは?!

10月7日
日高村佐川町学校組合立加茂小学校
(5・6年生/43人)

●目的

来館が初めての子供が多いので、バックヤード・ツアーや、コレクションを鑑賞することで美術館に親しむ。

●スケジュール

10:00 来館、創作室へご案内。

オリエンテーション(当日スケジュール、館内ルールの確認)

10:20-11:20 4グループに分かれてツアー開始。館内作品、「シャガール展」、「石元泰博展」を鑑賞、バックヤードとして管理棟、ホール音響室、搬入口・防災センターを見学。

11:30 美術館を出発、高知県立坂本龍馬記念館へ移動。

●先生の感想

本事業が利用できればまた来館したい。

●成果・課題

バックヤードとコレクションを知ることによってフォーカスしたため、ゆっくりと鑑賞することができた。来館人数、学年、対応スタッフ等によりプログラムを検討する必要があるが、子どもたちとの対話を大切にしたい。



2大コレクションの一つ「石元泰博展」



窓から作品(グロリア)をのぞいてみる

11月14日
いの町立吾北中学校
(1~3年/42人)

●目的

展覧会を鑑賞し、さまざまな表現に触れる。施設に親しむとともに、美術館ホールの特徴的な舞台のしくみを知る。

●スケジュール

9:40 来館、ホールへご案内。

9:50-10:10 オリエンテーション(当日スケジュール、館内での注意事項の確認)、コレクション展や企画展の前説、舞台上で能舞台等を見学。

10:10-11:10 3グループに分かれて館内ツアー「石元泰博展」、「鳥にうっとり♡展」、「高橋コレクション展」の自由鑑賞を主体に行う。

11:30 美術館を出発、高知城へ移動。

●先生の感想

- 専門家の説明を受けながらの鑑賞は大いに意味があった。
- 初めての美術館に、生徒の喜びもあったと思う。
- 展示替えのため、シャガール作品が見られなかったのが残念。申込時に情報があればよかった。
- 一つの作品をじっくり解説してもらったのも良かったかもしれない。
- 美術館の意義や存在価値についての話ができれば良かった。

●成果・課題

本事業により当館で「ファースト・ミュージアム体験」をする生徒が増えることは成果として挙げられる。一方、学校の要望を理解し、多忙を極める先生方とのコミュニケーションを円滑に図りながら、お互いにとって有意義なプログラムにすることが課題。



能舞台見学

11月25日
南国市立国府小学校
(3・4年生/31人)

●目的

距離的には比較的、当館に近い地域の学校ではあるが、意外と来館が初めての子供が多いので、バックヤード・ツアーや、コレクションを鑑賞することで美術館に親しむ機会にする。

●スケジュール

9:15 美術館着、創作室へご案内。

9:20-9:40 オリエンテーション。

(当日スケジュール、館内注意事項の確認)

9:40-11:00 3グループに分かれて館内ツアー。

館内作品、「シャガール展」、「鳥にうっとり♡展」を鑑賞、バックヤードとして管理棟、搬入口・防災センターを見学。

11:15 美術館を出発、牧野植物園へ移動。

●先生の感想

打合せから当日まで丁寧にご案内いただいた。

●成果・課題

距離的には遠くない地域でも、来館の機会は少ない学校が多いことを実感。近くて遠い美術館の距離を縮めることが課題。



人気の(鏡をもつ女)



館長室訪問

2月21日
高知市立十津小学校
(6年生/63人)

●目的

午後にかかるぼーとで行われる舞台鑑賞に合わせて「芸術鑑賞の日」と位置づけて、さまざまな表現に触れる一日にしたい、との要望に応え、展覧会を中心に鑑賞。

●スケジュール

10:00 美術館着、美術館ホールへご案内。

10:00-10:25 オリエンテーション(当日スケジュール、館内注意事項の確認)、午後の鑑賞に関連づけて、ホールの説明。

10:30-11:40 「シャガール展」、「石元泰博展」、「日本におけるキュビズム展」を鑑賞。バックヤードとしてエレベーター、ホールの調光室・映写室を見学。昼食。

12:30 美術館を出発、かるぼーとへ移動。

●先生の感想

- 立地条件から路線バスや電車を利用した校外学習は、時間の制約などもあり、厳しい。本事業により、保護者にバス代の負担をかけることなく、貴重な学習機会を設けることができた。
- 子どもたちは、普段入ることのできない場所を見学したり、詳しい話を聞くことができ、喜んでいました。
- 文化に触れる機会を6年生という卒業前に得ることができ、芸術や美術館に対して興味や関心が高まったと思う。

●成果・課題

距離的に遠くない学校でも、公共の交通手段が限られるため、当館を利用できない学校は少なくない。そのような学校の来館が叶うことは成果であるが、当事業を継続的に利用することは難しいため、単発的な利用になることが課題。



ホール舞台のしくみ見学



イサム作品〈CHI-ZA〉

2 学校団体利用

図画工作や美術の授業、社会科見学、校外学習など、各学校と連携して、来館目的や児童・生徒に合った鑑賞プログラムを実施した。また、事前予約により鑑賞前に10分程度の前説を積極的に行った。

利用校／高知市立介良中学校、土佐塾中学・高等学校、高知学芸中学校、高知市立青柳中学校、高知市立秦小学校、宿毛市立片島中学校、いの町立伊野南中学校、高知市立一宮中学校、中土佐町立大野見中学校、仁淀川町立池川中学校、いの町立伊野南小学校、明德義塾中学校、高知市立潮江南小学校特別支援学級、高知市立鏡中学校、高知県立高知若草養護学校、安芸市立穴内小学校、南国市立長岡小学校特別支援学級、安田町立安田小学校(計18校)

●先生の感想

- 展覧会だけでなく、美術館の建築の工夫について聞くことができ、生徒達は新鮮で楽しかったようだった。また、美術館に行きたいという声も多かったため、これをきっかけに私的に来館して本物にたくさん触れてほしい。
- こども県展も時期に位置付けて、3・4年生の学習として鑑賞プログラムを利用したい。

●児童・生徒の感想

- 作品には作家のメッセージが込められていることがわかったが、メッセージを読み取ることはできなかった。でも、興味をもった作家や作品がいっぱいあった。
- 美術館はいろいろな作品があって面白いし、「なぜこれを描いたか」「何を思って描いたか」が、人それぞれの考え方があるのでいいなと思った。
- アートはなんでもあり、だから美術は誰もが楽しめるのが魅力。
- シャガールの作品で、私が好きな作品は《路上の花束》《オルジュヴァルの夜》《空を駆けるロバ》です。どれも寂しそうで悲しそうだけど、少しうれしそうだから。でも、どうして不思議な絵ばかりなのか私にはわかりません。

●成果・課題

これまで年間を通じて複数回利用のあった私立の小学校が、担当教諭の交代により利用がなくなった。校外学習は先生への負担が多く、先生個々の判断に頼らざるをえない。受入側としては、「負担」を上回る体験となるようプログラムの充実を目指したい。一方、新規の来館校が増えたこと、「こども県展」と合わせて展覧会を鑑賞する学校が増えてきたことはうれしい。また、少しずつではあるが、鑑賞

プログラムを利用するリピート校が増えたことは成果である。大規模校の団体対応の際、カルチャーサポーターの「見守り隊」※が積極的に協力してくれたことがスムーズな対応につながった。

※当館のボランティア、カルチャーサポーターが、子ども達が安心・安全に鑑賞できるようにサポートする活動。



高知市立介良中学校



高知学芸中学校



高知市立青柳中学校



いの町立伊野南小学校



高知市立秦小学校

3 その他 保育園・幼稚園の団体利用

今年度は、土佐市内の保育園に通う就学直前の5歳児と、高知大学教育学部附属幼稚園の全園児の鑑賞プログラムを行った。3年目となる土佐市の保育園は、館内散歩と好きな場所や作品を描く1時間程度のプログラム。初年となる附属幼稚園は、実質20人程度のグループに分かれて館内作品、シャガール《オルジュヴァルの夜》、企画展「日本におけるキュビズム」第2会場を1時間程度鑑賞。いずれも先生の要望を聞きながら行ったプログラムではあるが、コミュニケーションをより一層図り、年齢に応じた適切なプログラムに育てていきたい。

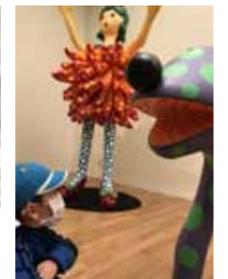
利用施設／宇佐保育園、みのり保育園、波介保育園、こばと保育園、北原保育園、天理あかつき保育園、すみれ保育園、山の手保育園、高石保育園、愛聖保育園、わかば保育園、蓮池保育園(以上、土佐市内)、高知大学教育学部附属幼稚園

●成果・課題

土佐市の保育園は、地域によって、石元泰博フォトセンターのプログラムで再来館する子どもがいるので、どのような再会が果たせるか楽しみである。一方、附属幼稚園の1回で100人を越える園児の対応は、事前打合せや幼稚園の協力態勢を得ても、難しいものだった。幼稚園と協議をしながら、来館回数を増やし、少人数のグループで、一人ひとりの子どもたちと会話が交わされるプログラムを考えていきたい。



みんなで〈CHI-ZA〉に座ってみる



口の中は…

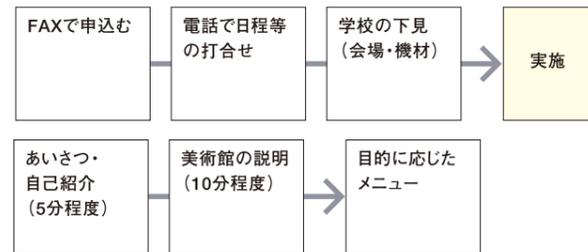


外をのぞいてみよう

アウトリーチ(美術館→学校)事業

1 出前びじゅつ講座

美術館スタッフが、先生方からの要望をもとに、画像などを用いての美術鑑賞を中心に授業を行う。



●スケジュール

① 来館前の事前学習

- 館内作品やマルク・シャガール、石元泰博など作品画像を用いてコレクションについて解説
- 来館時開催予定の企画展の解説など
- ◎利用校:高知市立一宮中学校1年

② キャリア教育

- 学芸員の仕事を紹介
- ◎利用校:高知市立一宮中学校(校内ハローワーク)

③ 図画工作・美術の授業

- 当館コレクションや国内外の作品画像を使用した解説や鑑賞
- ◎利用校:南国市立鷹ヶ池中学校1年生、高知市立三里小学校5・6年生、四万十町立興津中学校1・3年生

④ その他

- 夏休みに高知市文化プラザ「かるぼーと」で開催される子どもたちが「仮想のまち」で多様な暮らしのシーンを体験する「とさつ子タウン」のカルチャーセンターの講座として参加。美術館や開催中の展覧会を紹介。

●成果・課題

現在、美術館への来館校を増やすことに重点を置き、積極的なアプローチは行っていないため、実績は増えていない。しかし、物理的に来館が難しい地域は少なくないので、そのような地域への対応が課題。

2 出前クラシック教室

県内の子どもたちに、気軽にクラシック音楽に親しんでもらうため、また、県内アーティストの育成を行うとともに、地域の幼稚園、小中学生等との音楽交流を進めた。



●事業内容

県内を中心に活躍する音楽家が本事業のために結成した「アンサンブル・パレット」(福田香苗/サクソフォーン、中山園/トランペット、川村陽華/ヴァイオリン、杉本成美/ピアノ、岡林綾/フルート)が、小・中学校の教室などで行う演奏会。

アニメーション「となりのトトロ」を中心に、楽器の仕組みや曲紹介、児童・生徒による朗読を交えて、音楽を通じたコミュニケーションを楽しみながら行った。

利用校/高知医療学院全学年、大川村立大川小中学校全学年、にしん幼稚園全園児、香南市立吉川小学校全学年、高知市立土佐山学舎1~2年

●児童・生徒の感想(抜粋)

- 今まで以上に楽器に興味があった。
- 5人だったけど、オーケストラと思うほどの迫力だった。みんなが大きな声で朗読したので、演奏にパワーが入ったと思う。
- 曲を聞いていると頭にトトロの姿が浮かび上がってきた。
- いろんな楽器の音が混ざり合って、すごい音になっていた。
- 今日あったことで音楽に心をむけることができた。
- ピアノは弦の長さや太さによって音の高低が変わるということは知っていたが、そのことと解剖学で出てきた声帯の長さによって声の高低が変わる仕組みが一緒だと思った。
- こころばらくピアノに触れていなかったが、今日の演奏を聞いたことで帰ったら真っ先にピアノを弾きたいと思った。



フルートはどんな音がするのかな?

●成果・課題

「アンサンブル・パレット」が5人体制になってから2年目となり、やはり懸念していたスケジュールの確保に苦戦したが、他の演奏家に出演してもらう機会もあり、良い結果となった。

また、今までの小中学校に加え、幼稚園や専門学校まで、幅が広がり、それぞれの反応がとても興味深いものとなった。さらに、子ども向けのコンサートを実施することができ、たくさんの親子連れに、本格的なクラシックを提供できる機会を得た。長年継続してきたことで、「出前クラシック教室」の認知度も上がり、今年度は、教育委員会を通さず、ほぼ依頼のあったところに出向形となった。コンサートチラシを各施設に配布したことで、子育て支援センター(音楽室などの設備がない)などからも、要望があり、今後どこまで間口を広げていくかが課題である。



小さな子どもたちも感想を書いてくれました

3 出前演劇教室

子どもたちに、体の動きの大切さに気づかせるとともにコミュニケーション能力の向上を図るため、出前演劇教室を県内の小中学校で行った。(事前ワークショップ含む)



●事業内容

小野寺修二を中心に2008年に設立されたカンパニーデラシネラによる、マイムを取り入れた身体性に富んだ演出の「ドン・キホーテ」の上演。小・中学校等で公演し、子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としている。事前のワークショップでは、子どもたちと一緒に体を動かし、コミュニケーションを深め、出前演劇へつなげ、最後は、美術館ホールでの本公演も実施。

利用校/高知市立高須小学校4年、日高村佐川町学校組合立加茂小・中学校全学年、香南市立岸本小学校全学年、香南市立赤岡小学校全学年

●児童・生徒の感想

- ほうきが本物の馬に見えた。
- 一枚の布が、僕たちの上を通った時、すごうれしかった。
- 「ドン・キホーテ」を知らなかったけど、本の世界に入った感じがした。
- 僕は、冒険をしている人が楽しそうでわくわくした。
- すごくダイナミックな演劇で、木で立方体を使っていて不思議な感じだった。
- 布を使って風車に立ち向かっていくところは、布が嵐のようになっていたので、私がおの場所にいるような気持ちになった。
- 最初は演劇が何かわからなかったけど、今日観て、物語を体で表現するものだったと思った。
- すごく面白かったので、演劇に興味をもった。

●成果・課題

事前ワークショップを行い、出前演劇、本公演という流れは、初めてであったが、どちらも実施できた学校での反応は、やはり濃いものとなった。可能な限り、給食も共にしたことで、子どもたちの反応もさらに良かった。作品は「ドン・キホーテ」であったが、内容を理解できるかどうかよりも目の前で繰り広げられる、役者の動きや小道具に惹きつけられているようであった。本公演は、実際に出前演劇を観た子どもが親と来ており、理想的な形となった。学校の下見段階では、まだ作品ができておらず、もう少し内容を把握できていれば、下見・打合せはスムーズであったと思われる。また、荷物がたくさんあり、トラックから会場への運び込みなどは手がかかった。



事前ワークショップで一緒に身体を動かしてみる



いつもの体育館が劇場に...

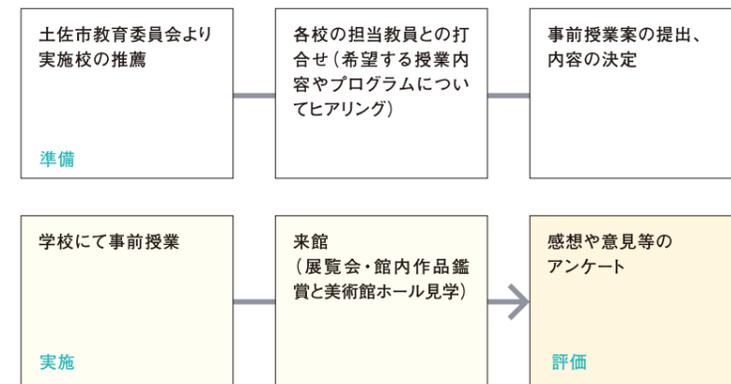


石元泰博コレクションの活用

土佐市スクール・プログラム3年目の取り組み

郷土ゆかりの写真家である石元泰博氏のコレクションを紹介し、作家や作品に親しみを感ぜてもらうプログラムとして、石元氏が3歳から18歳までを過ごした土佐市を重点地域と定め、平成26年度より実施してきた。昨年度より、プログラムの対象を土佐市内の全小学校と定め、事前授業と来館を組み合わせたプログラムへと内容が整った。今年度は土佐市教育委員会と高知県立美術館とで連携事業に関する協定を締結し、本事業の共同を強めた。実施校は、初年度から引き続き、石元氏の母校である高岡第二小学校3学年19名と、高岡第一小学校4学年92名を対象とした。事業実施の3年目を迎え、徐々にその仕組みが体系づけられつつあるなか、プログラムのマンネリ化を防ぎ、より丁寧な内容の実施を行っていく。

実施までの流れ



●高知県立美術館と石元泰博コレクション
当館で開催した「石元泰博写真展 1946—2001」展(2001年)を機縁に、高知県は石元氏の生前から逝去した後にかけて、ご本人とご遺族から段階的に作品等の寄贈を受けた。そのコレクションの概要は、プリント34,753枚、ネガフィルム約100,000枚、ポジフィルム約50,000枚、さらに書籍・写真集、カメラ機材や、交流のあった他作家作品等を含み、公立美術館の有する個人コレクションとしては類を見ない質と量を誇る。また、高知県は石元氏より写真作品及び写真フィルムの著作権譲渡も受けている。

●石元泰博フォトセンターについて
石元泰博コレクションを、適切な環境で保存・管理し、継続的な調査・研究を行い、国内外多くの人々が利用できるアーカイブとして、その価値を一層高めるため、2013年に高知県立美術館内に開設。コレクションを管理し研究する「深める」活動、展覧会開催やデータベースサービスなどを通じて「広める」活動と並び、石元氏の人間性や芸術に親しんでもらうための「つなぐ」活動として、本スクール・プログラムの実施等、コレクションの活用と普及に努めている。



石元泰博(1921-2012)について
アメリカ・サンフランシスコ生まれ。3歳のとき両親の故郷・高知県高岡町(現・土佐市)へ戻る。1928年灘・鳴川尋常小学校(現・高岡第二小学校)入学。高知県立高知農業学校(現・高知県立高知農業高等学校)を卒業した1939年、単身渡米するが、間もなく第二次世界大戦がはじまり、収容所生活を余儀なくされる。終戦後、シカゴのインスティテュート・オブ・デザイン(通称、ニュー・バウハウス)にて写真技法のみならず、石元作品の根幹を成す造形感覚の訓練を積む。その後、桂離宮に内在するモダニズムを写真により見出した作品で高い評価を受ける。文化功労者。高知県文化賞受賞。



石元泰博「セルフ・ポートレート」1975年 ©高知県、石元泰博フォトセンター

事前授業

土佐市立
高岡第二小学校

石元泰博氏の母校として、平成26年度より継続してプログラムを行っており、児童は全員過去に来館経験がある。授業

は来館時に見たものや訪れた場所をスライド画像を交えて振り返り、体験を思い出しながら進化した。石元泰博氏を大先輩の写真家として再度紹介し、写真作品を数点鑑賞した。作品から読み取れること(被写体、撮影場所・時期・時間等)をクラスで共有しつつ、見るポイントをつかんだ。授業の後半では、講師の写真家・中島健蔵氏と共にピンホールカメラづくりを行い、カメラの仕組みを学んだ。

●内容

12月12日[月]
3年生19人、10:45~12:20、45分授業2コマ

テーマ:「写真家・石元泰博さんとカメラの仕組みを学ぶ」
高知県立美術館について学び、郷土ゆかりの写真家・石元泰博氏とコレクションを知り写真作品の鑑賞ポイントをつかむ。ピンホールカメラを制作し、モノが写る仕組みや、モノの捉えかたを学ぶ。
講師:写真家・中島健蔵氏

●先生の感想

ひとり一つ成果物(ピンホールカメラ)があったので、家に帰ってからも試していたようだ。



スライドを使った説明と、作品の鑑賞



講師の中島氏からカメラの仕組みを説明



モノが映る仕組みを工作で学ぶ



完成したピンホールカメラを覗いてみる

授業内容

目標	●高知県立美術館について(施設の内容、働く人、催し)、石元泰博コレクションを知る ●カメラの仕組みを学ぶ ●来館時の注意点を学ぶ	
導入 5分	自己紹介、今日の授業の説明	
展開① 10分	●高知県立美術館の紹介(館内の様子、展示室写真、館内展示作品の紹介) ●石元泰博氏と写真コレクションを紹介	美術館外観、展示室の特徴、作品の大きさや素材について、スライドを交えながらイメージが膨らむように説明する
展開② 10分	カメラの仕組みについての説明	
展開③ 60分	ピンホールカメラの作成	ひとり一つを作成 出来上がった児童から覗いて見る
まとめ 5分	来館時の注意点を伝える	
評価	●高知県立美術館がどんな場所かイメージができる、石元泰博氏について説明できる ●カメラの仕組みを理解し、ピンホールカメラを作成できる	

事前授業

土佐市立
高岡第一小学校

美術館を訪れるのは今回が初めてとなる児童が多いため、まずは高知県立美術館の説明を行った。スライド画像を交えて「美術館はどこなところ?」「展示室とはどんなところだと思う?」など質問を投げかけながら、施設概要やコレクション内容、学芸員の仕事を説明した。土佐市ゆかりの作家として石元氏を紹介し、作品を数点鑑賞する際も、説明一方の内容ではなく、問いに対する児童の発言を重視しながら進めた。最後に来館時のマナーも考えることで、来館プログラムのイメージをつかんだ。

●内容

12月1日[木]

4年生92人、9:35~12:25、45分授業3コマ

テーマ:高知県立美術館って、どんなところ?

高知県立美術館の施設、コレクションの内容、働く学芸員の仕事を学び、美術館がどのようなところなのかイメージをつかむ。作品画像を使用して鑑賞時のポイントをつかみ、来館時の活動につなげる。

●先生の感想

画像を使っの事前指導はとても分かりやすく、イメージや興味を持って美術館見学への思いが持てた。



「美術館とはどんなところ?」など質問から授業開始



発言はクラスで共有

使用スライド例



授業内容

目標	<ul style="list-style-type: none"> ●高知県立美術館がどのような場所(施設の内容、働く人、催し)かを理解する ●高知県立美術館のコレクション(シャガール、石元泰博)を知る ●来館時の注意点を学ぶ 	
導入 5分	自己紹介、今日の授業の説明	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ●美術館の紹介①(外観:立地や大きさ、建築など) ●美術館の紹介②(内面:館内の様子、展示室写真、館内展示作品の紹介) ●美術館の紹介③(シャガール、石元泰博コレクション) ●学芸員の仕事紹介 	美術館外観、展示室の特徴、作品の大きさや素材について、スライドを交えながらイメージが膨らむように説明する
まとめ 10分	来館時や鑑賞時の注意点を伝える	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ●美術館がどんな場所かイメージができる ●学芸員の仕事が言える ●来館時に見てみたいもの、訪れてみたい場所を言える 	

12月7日
土佐市立高岡第一小学校
(4年生/90人)

3クラスごとにわかれ、各クラス学芸員1名とカルチャーサポーター(ボランティア)1名が引率し、展示室を順番にめぐった。各展示室で展示の概要を説明した後、自由鑑賞時間を設けた。授業で紹介した館内作品を発見し、実見して受けた印象について発言したり、取り上げた作品を中心に展覧会を鑑賞したり、各々のペースや興味の範囲で活動を行った。

●スケジュール

9:30 美術館到着、美術館ホールに移動、トイレ休憩。

9:40 はじめの挨拶(自己紹介、来館時のマナーを確認)。

9:45 3クラスごとに分かれ、「高橋コレクション展」、「シャガール展」、「石元泰博展」、「鳥にうっとり♡展」を鑑賞。

11:00 集合、トイレ休憩、まとめ。

11:10 美術館発。

●先生の感想

作品の内容が4年生には少し難しかったので、展示作品によって見学期を決めたり、対象を上級生にすることを検討しても良いと思った。土佐市出身の写真家・石元泰博氏に興味を持ち、もっと知りたいと調べる児童がいて、美術館訪問が良いきっかけとなった。



美術館ホールで来館時のマナーをおさらい



授業で取り上げた作品を実見

12月16日
土佐市立高岡第二小学校
(3年生/19人)

最初に美術館ホールの見学を行った。3グループにわかれて各グループを学芸員が引率した。少人数での活動となったため、ゆっくりと館内を巡りながら、前回来館した際と今回の来館を比較して印象の違いや新たな発見について、児童から発言が多く寄せられた。

●スケジュール

9:35 美術館到着、美術館ホールに移動、トイレ休憩。

9:40 はじめの挨拶(自己紹介、来館時のマナーを確認)。

9:45 美術館ホールの舞台上がってみる。

9:55 3クラスごとに分かれ、館内作品、「高橋コレクション展」、「シャガール展」、「石元泰博展」、「鳥にうっとり♡展」を鑑賞。

11:00 集合、トイレ休憩、まとめ。

11:05 美術館発。

●先生の感想

「お気に入りの作品を見つける」など、ただ鑑賞するのではなく、視点をもって鑑賞することができた。児童たちが作品を見る機会は、思ったよりも少ないようなので、見るのが良い刺激になったのでは、と思う。美術館スタッフの児童への接し方が上手になっていた。

●成果・課題

今年度で3年目の実施となり、土佐市の教育委員会・小学校との関係や、プログラムの仕組みと内容について、ある程度の枠組みができてきた。先生方の協力のもと、授業や来館時の活動をどう組み立てることもできつつある。また、石元氏の母校では、授業以外でも石元氏とふれあう時間を確保することで、高知県立美術館や石元泰博氏に親しみを覚える児童が増えてきたのではないかとと思われる。今後の継続にあたり、課題はプログラムのマンネリ化である。より丁寧で有意義なプログラムとするため、学校側からの期待や要望(児童に何を学ばせ、体験させたいか)をプログラムに活かすこと、その実施のため職員との協働が不可欠である。今後も美術館やコレクションに親しめる仕組みを整え継続していく。



作品を前にして会話しながら鑑賞



美術館ホールを見学

教職員対象プログラム

市町村の教育研究会などが主催する教職員対象の研修会を美術館で行った。特に、夏休みに開催した高知市教育研究会では、「美術館を“味わう”」をテーマに、前半は他館の事例を交えた講演会、後半は来館時に子どもたちと美術館をどのように味わうかを体験するワークショップ等を行った。

ティーチャーズ・デイ

当館主催の企画展会期中、小中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員を無料で招待する「ティーチャーズ・デイ」を行った。

参加者数

展覧会名	利用人数	参加人数
大原治雄写真展—ブラジルの光、家族の風景	4月17日(日)	3人
アール・ヌーヴォーのガラス展 デュッセルドルフ美術館ゲルダ・ケプフ・コレクション	7月17日(日)	6人
高橋コレクション マインドフルネス!2016	11月23日(祝・水)	5人
日本におけるキュビスム—ピカソ・インパクト	3月19日(日)	2人

参加者の感想

- とても興味深いお話を聞かせていただいた。勤務校により美術館の利用のしやすさが違うが、機会を得て生徒たちと利用できたらと思う。
- 学芸員ならではのエピソードを直接聞くことができ、大変興味深く鑑賞した。
- (ティーチャーズ・デイを)いつも利用させていただいています。子ども達を連れてきたいと思いながら日程調整ができず、すみません。
- 子どもたちには、美術館でやっぱり「本物」に出会わせたい。
- 職場内でのお知らせが遅く、事務職なのでもう少し早めのお知らせが欲しい。
- わかりやすい説明で、アートを身近に感じられた。生徒にも見せたいと思った。
- 歴史や技法を交えた話が聞けたので、作品をじっくり鑑賞するよい機会となった。職場でも紹介したいと思う。

成果・課題

少しずつではあるが「ティーチャーズ・デイ」の存在が知られてきている手応えを感じた。参加していただきやすい日の設定、周知方法が当面の課題。



HARUO OHARA
2016.4.9 - 6.12



Minutemen
2016.11.3 - 2017.1.22



CUBISM
2/12 sun. 3/26 sun.

平成28年度スクール・プログラム事業実績

来館利用

実施日	学校・学年	来館者(内訳)		利用数
		児童・生徒数	引率(教員)	
4月15日	高知市立介良中学校1年生	104	9	113
4月27日	土佐塾高等学校1年生	22	1	23
4月27日	高知県立高知南中学校2年生	113	8	121
5月2日	高知学芸中学校1年生	253	10	263
5月6日	土佐塾高等学校1年生	29	1	30
5月11日	高知市立青柳中学校1年生	94	8	102
5月12日	土佐塾高等学校1年生	21	1	22
5月27日	越知町立越知小学校6年生	37	2	39
6月27日	安芸市立土居小学校6年生	27	3	30
7月1日	高知市立泰小学校6年生	138	5	143
7月13日	高知県立高知南高等学校2年生	20	1	21
7月14日	高知県立高知南高等学校2・3年生	33	1	34
7月22日	宿毛市立片島中学校 美術部	19	1	20
7月27日	いの町立伊野南中学校1・3年生	11	1	12
7月27日	中土佐町立大野見中学校環境部	5	3	8
9月8日	高知市教育研究所	17	7	24
10月7日	日高村佐川町学校組合立加茂小学校5・6年生	43	4	47
10月7日	高知市立大津中学校1～3年生	251	27	278
11月7日	仁淀川町立池川中学校1～3年生	44	13	57
11月10日	高知県立山田高等学校2年生	26	1	27
11月11日	いの町立伊野南小学校5年生	40	3	43
11月14日	いの町立吾北中学校1～3年生	42	12	54
11月15日	高知市立一宮中学校1年生	168	14	182
11月25日	南国市立国府小学校3・4年生	31	4	35
11月30日	明徳義塾中学校1・2年生	126	11	137
12月7日	土佐市立高岡第一小学校4年生	90	6	96
12月13日	高知市立潮江南小学校特別支援学級	6	1	7
12月14日	土佐塾高等学校1年生	22	1	23
12月15日	土佐塾高等学校1年生	21	1	22
12月16日	土佐市立高岡第二小学校3年生	19	3	22
12月16日	土佐塾高等学校1年生	28	1	29
12月23日	土佐塾中等学校美術部	7	1	8
1月12日	室戸市教育研究所(室戸中3年生)	1	6	7
1月17日	高知市立鏡中学校3年生	11	6	17
2月16日	高知市教育研究所(中学生)	25	18	43
2月17日	高知県立若草養護学校中学部	3	3	6
2月21日	高知市立十津小学校6年生	63	3	66
2月23日	高知県立高知工業高等学校	24	2	26
2月23日	中土佐町立大野見中学校1～3年生	24	12	36
2月28日	高知大学教育学部附属小学校1年生	35	2	37
3月1日	高知市立潮江中学校特別支援学級1～3年生	7	1	8
3月2日	安芸市立穴内小学校5・6年生	9	3	12
3月2日	四万十町立影野小学校1～6年生	28	10	38
3月2日	南国市立長岡小学校特別支援学級5年生	3	1	4
3月3日	日高村立能津小学校1～6年生	16	6	22
3月3日	安田町立安田小学校3・4年生	23	2	25
3月7日	高知市立昭和小学校6年生	88	4	92
合計		2,267	244	2,511

- ミュージアムバス・ツアー
- 石元泰博コレクション活用

教職員の研修

実施日	学校名	利用数
8月23日	高知市教育研究会 図工・美術部会	65
1月15日	高知県高等学校美術工芸研究会	15
合計		80

保育・幼稚園来館

実施日	保育園名	児童・生徒数	引率	
1月5日	土佐市内保育園(宇佐、みのり)	24	4	28
1月6日	土佐市内保育園(波介、こぼと)	19	5	24
1月11日	土佐市内保育園(北原、天理あかつき)	17	5	22
1月12日	土佐市内保育園(高石、愛聖)	23	5	28
1月13日	土佐市内保育園(わかば)	26	3	29
1月16日	土佐市内保育園(すみれ、山の手)	26	6	32
1月19日	土佐市内保育園(蓮池)	25	3	28
3月3日	高知大学教育学部附属幼稚園	106	20	※126
合計		317		

※学生4人含む

出前びじゅつ講座

実施日	学校名	利用数
6月2日	高知市立三里小学校5・6年生	69
6月10日	南国市立鷹ヶ池中学校1年生	50
8月20日	とさっ子タウン2016	—
11月8日	高知市立一宮中学校1年生(校内ハローワーク)	45
11月9日	高知市立一宮中学校1年生	173
12月1日	土佐市立高岡第一小学校4年生	92
12月12日	土佐市立高岡第二小学校3年生	19
1月26日	四万十町立興津中学校1・3年生	12
合計		460

出前クラシック教室

実施日	学校名	参加数
11月21日	高知医療学院	118
1月24日	大川村立大川小中学校全学年	23
2月1日	にしん幼稚舎1、2歳	17
2月1日	にしん幼稚舎3歳以上	29
2月6日	香南市立吉川小学校1～4年生	30
2月6日	香南市立吉川小学校5・6年生	22
2月14日	高知市立土佐山学舎1・2年生	34
合計		273

出前演劇教室

実施日	学校名	参加数
12月8日	香南市立赤岡小学校2・4年生	32
12月9日	日高村佐川町学校組合立加茂小学校3・4年生	26
2月23日	高知市立高須小学校4年生	112
2月24日	日高村佐川町学校組合立加茂小・中学校全学年	155
2月27日	香南市立岸本小学校1～6年生	56
2月28日	香南市立赤岡小学校1～6年生	123
合計		504

平成28年度 高知県立美術館 スクール・プログラム報告書

編集 : 高知県立美術館 学芸課 長山美緒、茂木恵美子

デザイン : 有限会社ナノ・クリエイティブ

発行 : 高知県立美術館 〒781-8123 高知市高須353-2

発行日 : 平成29(2017)年3月31日